

Bluetooth2 次元バーコードリーダー  
IG610BT-BLK-U



プログラミングマニュアル Ver1.00

Copyright © 2018

本書のいかなる部分も、またいかなる方法によっても、目的に関わらず、許可なく変更または改変することを禁じます。本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。本書に記載されているすべての製品名とサービス名は、該当する名所有者が権利を有しています

### はじめにお読みください

この度は、バーコードリーダーのご購入、誠にありがとうございます。

通常の利用に関しましては、お買い上げ時（初期設定）でご利用頂けますが、変更が必要な場合は、本書から設定を行ってください。

ご利用の機種により、設定をサポートしていない箇所がございますので、その場合は予めご了承ください。

なお、解決しない場合には、弊社までご連絡ください。

### ご注意

ご使用に際しては、次の点にご注意下さい。

- ・ 正面の窓を光学機器でのぞきこまないでください。
- ・ 人の目に向けてLED光を出射させないでください。
- ・ 分解など機器の取り外しは行わないでください。

## 目次

<b>第1章 ユーザー設定</b> .....	<b>9</b>
デフォルト設定パラメータ .....	9
バージョン情報表示 .....	9
パラメータバーコードのスキャン .....	10
読み取り成功時のビープ音 .....	10
ビープ音の音程 .....	10
ビープ音の音量 .....	11
ビープ音の長さ .....	11
スマートフォン液晶読取り .....	12
スキャンモード .....	12
省電力モード .....	12
省電力モード移行時間 .....	13
読み取り可能時間（トリガーモードのみ） .....	13
同一バーコードの読み取り間隔 .....	14
照射の明るさ設定（読み取り感度調整） .....	14
ポインタの設定 .....	15
補助光の設定 .....	16
<b>第2章 インタフェースの設定</b> .....	<b>16</b>
インタフェースの切り替え .....	16
RS232 の通信設定 .....	17
USB キーボード (HID) .....	19
キャラクタ間遅延 .....	20
キーボード言語 .....	21
USB キーボードインタフェースの日本語出力 .....	21
<b>第3章 バーコード設定</b> .....	<b>22</b>
バーコード UPC/EAN/JAN .....	22
UPC-A 読み取り .....	22
UPC-E 読み取り .....	22
UPC-E1 読み取り .....	23
EAN-8/JAN8 読み取り .....	23
EAN-13/JAN13 読み取り .....	23
Bookland EAN 読み取り .....	23
UPC/EAN/JAN アドオン（2桁と5桁） .....	24
UPC/EAN/JAN アドオン読み取り繰返回数 .....	25

UPC-A チェックデジットの転送	25
UPC-E チェックデジットの転送	25
UPC-E1 チェックデジットの転送	26
UPC-A Preamble	26
UPC-E Preamble	27
UPC-E1 Preamble	27
UPC-E を UPC-A に変換	28
UPC-E1 を UPC-A に変換	28
EAN-8/JAN 8 先頭に「0」追加	28
UCC Coupon Extended Code の読み取り	29
バーコード Code 128	29
Code 128 読み取り	29
UCC/EAN-128 読み取り	29
ISBT 128 読み取り	30
バーコード Code 39	30
Code 39 読み取り	30
Trioptic Code 39 読み取り	30
Code 39 を Code 32 に変換	30
Code 32 先頭に「A」追加	31
Code 39 の読み取り桁数設定	31
Code39 チェックデジットの確認	32
Code 39 チェックデジットの転送	33
Code 39 Full ASCII の読み取り	33
Code 39 バッファリング (スキャン&ストア)	33
バーコード Code 93	36
Code 93 の読み取り	36
Code 93 の読み取り桁数設定	36
任意の読み取り桁数	36
バーコード Code 11	37
Code 11 読み取り	37
Code 11 の読み取り桁数設定	37
Code 11 チェックデジットの確認	39
Code 11 チェックデジットの転送	39
バーコード Interleaved 2 of 5(ITF)	40
Interleaved 2 of 5(ITF) の読み取り	40
Interleaved 2 of 5(ITF) の読み取り桁数設定	40

Interleaved 2 of 5 (ITF) チェックデジットの確認.....	41
Interleaved 2 of 5 (ITF) チェックデジットの転送.....	42
EAN -13 への変換.....	42
バーコード Discrete 2 of 5 (DTF) .....	42
Discrete 2 of 5 (DTF) の読み取り.....	42
Discrete 2 of 5 (DTF) の読み取り桁数設定.....	43
バーコード Codabar (NW-7) .....	44
Codabar (NW-7) の読み取り.....	44
Codabar (NW-7) の読み取り桁数設定.....	44
GLSI 編集.....	45
Codabar (NW-7) スタート・ストップキャラクタの転送.....	46
バーコード MSI .....	46
MSI 読み取り .....	46
MSI の読み取り桁数設定 .....	46
MSI チェックデジットの確認.....	48
MSI チェックデジットの転送.....	48
MSI チェックデジットアルゴリズム.....	48
バーコード 郵便コード.....	49
US Postnet 読み取り .....	49
US Planet 読み取り .....	49
UK Postal 読み取り .....	49
UK Postal チェックデジットの転送 .....	49
Japan Postal 読み取り .....	50
Australia Post の読み取り .....	50
US Postal チェックデジットの転送 .....	50
バーコード GS1 DataBar (RSS).....	50
GS1 DataBar Limited の読み取り .....	51
GS1 DataBar Limited の読み取り精度レベル .....	51
GS1 DataBar Expanded の読み取り .....	52
GS1 DataBar から UPC/EAN/JAN への変換.....	53
バーコード Composite.....	53
Composite CC-C 読み取り .....	53
Composite CC-A/B 読み取り .....	54
Composite TLC-39 読み取り .....	54
UPC Composite モード.....	54
Composite ビープ音モード.....	55

UCC/EAN Composite コードの GS1-128 エミュレーションモード	55
2次元コード	55
PDF417 読み取り	56
Micro PDF417 読み取り	56
Micro PDF417 を Code128 にエミュレーション	56
Data Matrix 読み取り	56
MaxiCode 読み取り	57
QR コード読み取り	57
読み取り精度レベル	57
2値コードタイプの読み取り精度レベル	57
4値コードタイプの読み取り精度レベル	58
キャラクタ間ギャップサイズ	59
バーコード MacroPDF	60
MacroPDF 送信モード	60
MacroPDF コントロールヘッダー送信	61
MacroPDF エスケープ文字	61
MacroPDF バッファデータ送信	61
MacroPDF バッファリング中止	62
その他の設定	62
コード ID 送信	62
プリフィックス・サフィックス値	62
スキャンデータ転送 フォーマット	63
FN1 置換値	64
NR (読み取りなし) メッセージの転送	66
ファンクションキーのマッピング	65
<b>第4章 Bluetooth の設定</b>	66
Bluetooth 初期化	66
SPP マスターモード	66
SPP スレーブモード	67
範囲外蓄積機能	67
蓄積データの送信設定	67
Bluetooth 自動再接続	68
クレードル ID 表示	68
IOS 端末のキーボード呼び出し設定	69
スリープモード設定	69
バッチモード設定	70

付録 A .....	71
シンボルコード ID 一覧.....	71
AIM コード ID .....	72
修飾キャラクター一覧 .....	73
付録 B.....	77
表 1 ASCII キャラクタセット値一覧.....	77
表 2 ALT Key スタンダードデフォルト一覧.....	81
表 3 USB GUI キーキャラクタセット.....	82
表 4 PF キー標準デフォルト値一覧.....	83
表 5 ファンクションキー標準デフォルト値一覧.....	84
表 6 テンキー標準デフォルト値一覧.....	85
表 7 拡張キー標準デフォルト値一覧.....	86
付録 C.....	87
数字バーコード .....	87
キャンセルバーコード.....	88
反転バーコード .....	<b>89</b>
○1 次元コード反転コード .....	89
○Data Matrix 反転コード.....	90
○QR コード 反転コード .....	90
○Aztec 反転コード .....	91

**「※」マークが付いている項目はデフォルト値となります。**

## 第1章 ユーザー設定

### デフォルト設定パラメータ

下記の設定コードを順番に読み取って下さい、次のようにすべてのパラメータがデフォルトにリセットされます。

① リーダーエンジンデフォルト



V1.1 2015 Dec

② Bluetoothパラメータデフォルト

Set BT Parameter Default



~+\$000C\$

③ スキャナー/クレードルデフォルト



~\$+/2

### バージョン情報表示

スキャナーのFW 情報表示



~\$000K\$

クレードルのFW 情報表示



~\$000Y\$

スキャナーのMAC アドレス



~\$000L\$

クレードルの MAC アドレス



%~\$001P\$

### パラメータバーコードのスキャン

パラメータバーコード（「デフォルト設定」パラメータバーコードも含む）の読み取りを無効にするには、以下の「パラメータのスキャンを無効にする」バーコードをスキャンします。パラメータバーコードの読み取りを有効にするには、「パラメータのスキャンを有効にする」をスキャンします。



※ パラメータのスキャンを有効にする



パラメータのスキャンを無効にする

### 読み取り成功時のビープ音

読み取りが成功したとき、ビープ音を鳴らすかどうかを設定します。



※鳴らす



鳴らさない

### ビープ音の音程

ビープ音の音程を設定します。



低



※高



中

### ビープ音の音量

ビープ音の音量を設定します。



小



中



※大

### ビープ音の長さ

ビープ音の長さを設定します。



短い



中



※長い

## スマートフォン液晶読取り



※有効



無効

## スキャンモード

バーコードリーダーは2種類のトリガモードがあります。次のいずれかを選択します。

- ・ トリガモード（手動）：トリガを押すと、読み取りが開始されます。バーコードの読み取りが完了する、トリガを放す、または読み取りセッションタイムアウトが発生するまで、読み取りは継続されます。
- ・ 自動認識モード：読み取り範囲内でバーコードを検出すると、読み取りを実行します。待機状態になってしばらくすると、省電力モードになり、動きを感知するまでLEDが消灯します。



※トリガモード（手動）



自動認識モード

## 省電力モード

バーコードリーダーが読み取り待機中のとき、省電力モード移行時間で設定された時間が経過すると、省電力モードに切り替わります。



常にパワーオン



※省電力モード

### 省電力モード移行時間

省電力モードに切り替わるまでの時間を設定します。

「省電力モード」の場合のみ適用されます。



※1 秒



5 秒



1 分



5 分



15 分



1 時間

### 読み取り可能時間

このパラメータは、スキャン中に読み取りを続ける最大時間を設定します。

0.5 秒から 9.9 秒まで 0.1 秒単位で設定できます。

デフォルト値は 9.9 秒です。

時間を設定するには、以下のバーコードをスキャンします。続いて、「数字バーコード」

(P. 87) から、指定する時間に対応する 2 つの数字バーコードをスキャンします。数字が 1 桁の場合、最初に必ずゼロをスキャンしてください。例えば、0.5 秒を設定するには、以下のバーコードをスキャンしてから、「0」と「5」のバーコードをスキャンします。操作を間違ったり、設定を変更したりする場合は、「キャンセル」(P. 88) をスキャンします。



読み取り可能時間

### 同一バーコードの読み取り間隔

バーコードの読み取りが成功した後、再度、同一のバーコードを読み取ることができるまでの時間を設定します。読み取り範囲内にシンボルが残っていても、ビープ音が鳴るのを防ぐことができます。0.0 秒から 9.9 秒まで 0.1 秒単位で設定できます。

デフォルト値は 0.4 秒です。

「スキャンモード」にて「自動認識モード」の場合のみ適用されます。

時間を設定するには、以下のバーコードをスキャンします。続いて、「数字バーコード」

(P. 87) から、指定する時間に対応する 2 つの数字バーコードをスキャンします。数字が 1 桁の場合、最初に必ずゼロをスキャンしてください。例えば、0.5 秒を設定するには、以下のバーコードをスキャンしてから、「0」と「5」のバーコードをスキャンします。操作を間違ったり、設定を変更したりする場合は、「キャンセル」(P. 88) をスキャンします。



同一バーコードの読み取り間隔

### 照射の明るさ設定（読み取り感度調整）

照射の明るさを調整し読み取り感度を調整できます。

高い数値に設定すると照射が明るくなり、読み取りやすくなります。

低い数値にすると照射が暗くなり、感度を絞ることができるため密集したコードへの読み取りが改善する場合がございます。

設定は 01～10 まで可能です。

1. 下記の「Illumination Brightness」を読み取ります。



**Illumination Brightness**

2. 明るさを設定します。 明るさ 6 の場合、「0」 → 「6」 の順で読み取ります。  
最高、10 まで設定可能です。

 0	 1
 2	 3
 4	 5
 6	 7
 8	 9

3. USB ケーブルまたは RS-232C ケーブルを取り外し、 照射の明るさを確認ください。

### ポインタの設定

バーコードを狙う際の補助用ポインタ（赤い丸の照射）を ON・OFF することが出来ます。  
液晶読み取りの際に反射などで読み取りにくい場合、お試しください。

- ・ポインタ ON : ポインタを ON にします。
- ・ポインタ OFF : ポインタを OFF にします。

※ポインタ ON



2450402

ポインタ OFF



2450400

## 補助光の設定

赤い四角の照射を ON・OFF することが出来ます。

- ・補助光 ON : ポインタを ON にします。
- ・補助光 OFF : ポインタを OFF にします。

※ 補助光 ON



1440011

補助光 OFF



1440010

## 第2章 インタフェースの設定

### インタフェースの切り替え

キーボード I/F



%00U0

RS232 I/F



%00U8

※USB (HID) I/F



%OX08

バーチャルCOM I/F



%0088

## RS232 の通信設定

### A>ボーレート (BaudRate)

1200



%0Y71

2400



%0Y72

4800



%0Y73

9600



%0Y77

※19200



%0Y74

38400



%0Y75

### B>データビット (DataBits)

7 Data Bits



%0Y80

※8 Data Bits



%0Y88

C>ストップビット (StopBits)

※1 Bit



%0Y08

2 Bits



%0Y00

D>パリティ (ParityCheck)

※None



%0YN7

偶数 (Even)



%0YN2

奇数 (Odd)



%0YN3

マーク Mark



%0YN1

スペース Space



%0YN0

E>ハンドシェイク (Handshaking)

RTS/CTS 有効



%0188

※RTS/CTS 無効



%0180

ACK/NAK 有効



%0144

※ACK/NAK 無効



%0140

XON/XOFF 有効



%03K4

※XON/XOFF 無効



%03K0

## USB キーボード(HID)

### A>大文字/小文字変換

※変換なし



%0330

大文字変換あり



%0331

小文字変換あり



%0332

B>Caps ロック検出

有効



%0X88

※無効



%0X80

C>ALT シーケンス

有効



%0308

※無効



%0300

D>数字データテンキー送信

送信あり



%01K4

※送信なし



%01K0

キャラクター間の遅延

※0 ms



%0070

5 ms



%0071

10 ms



%0072

25 ms



%0073

50 ms



%0074

100 ms



%0075

200 ms



%0076

300 ms



%0077

## キーボード言語

※US English



%0ZV0

Japanese



%0ZV9

## USB キーボードインターフェースの日本語出力

日本語出力を行う場合は、下記を上から順番にスキャンして下さい。

ALTシーケンス有効

①



%0308

キーボード言語 Japanese

②



%0ZV9

③QRコードに対応する文字コード (Shift-JIS または UTF-8) を読み取ります。

※ どの文字コードかわからない場合は下記「Shift-JIS\_QR」の設定バーコードを読み取ります。

Shift-JIS_QR		UTF-8_QR
%3C3		%3C7

### 第3章 バーコード設定

各種項目のデフォルトを確認して、必要な場合のみ設定して下さい。

#### バーコード UPC/EAN/JAN

##### UPC-A 読み取り



※有効



無効

##### UPC-E 読み取り



※有効



無効

### UPC-E1 読み取り

UPC-E1 は UCC (Uniform Code Council : 米国流通コード協会) で承認されたバーコード形式ではありません。



有効



※無効

### EAN-8/JAN8 読み取り



※有効



無効

### EAN-13/JAN13 読み取り



※有効



無効

### Bookland EAN 読み取り



有効



※無効

## UPC/EAN/JAN アドオン (2桁と5桁)

アドオンが付加されている UPC/EAN/JAN の読み取り設定です。

新雑誌コードを読み取る場合には設定が必要です。

- ・ 「無視する」を選択した場合、アドオン付き UPC/EAN/JAN コードを読み取ると、UPC/EAN/JAN は読み取られますが、アドオンは無視されます。
- ・ 「アドオン付きのみ読み取り」を選択した場合、アドオン付き UPC/EAN/JAN コードのみ  
のみ  
が読み取られ、アドオンが無いバーコードは無視されます。
- ・ 「自動認識する」を選択した場合、アドオン付き UPC/EAN/JAN コードは直ちに読み取られます。アドオンが無い場合、IG710 はアドオンがないことを確認するために、UPC/EAN/JAN 「アドオン読み取り繰返回数」(P. 25) で設定された回数だけバーコードを読み取ってから、このデータを送信します。
- ・ 「先頭 378/379 のみ読み取り」を選択した場合、バーコード先頭が 378 か 379 で始まる EAN-13/JAN13 のみ検索して読み取ります。
- ・ 「先頭 978 のみ読み取り」を選択した場合、バーコードの先頭が 978 で始まる EAN-13/JAN13 のみ検索して読み取ります。
- ・ 「先頭 378/379/978 のみ読み取り」を選択した場合、バーコードの先頭が 378 か 379 か 978 で始まる EAN-13/JAN13 のみ検索して読み取ります。



※無視する



アドオン付きのみ読み取り



自動認識する



先頭 378/379 のみ読み取り



先頭 978 のみ読み取り



先頭 378/379/978 のみ読み取り

#### UPC/EAN/JAN アドオン読み取り繰返回数

「UPC/EAN/JAN アドオン（2桁と5桁）を自動認識する」を設定した場合、バーコードデータを送信する前に読み取り繰返回数の設定を行います。設定範囲は、2～30回までです。アドオンつきとアドオンなしのタイプが混在しているUPC/EAN/JANコードを読み取る際には、5回以上の値を設定することをお勧めします。

デフォルト値は10回です。

読み取り繰返回数を設定する方法：以下のバーコードをスキャンしてから、「数字バーコード」（P.87）から2つの数字を選択します。設定したい数字が1桁の場合は、最初に必ずゼロをスキャンしてください。操作を間違ったり、設定を変更、キャンセルしたりする場合、「キャンセル」（P.88）をスキャンします。



UPC/EAN/JAN アドオン読み取り繰返回数

#### UPC-A チェックデジットの転送

チェックデジットとは読み取り誤りがないかチェックするための数値です。

UPC-Aのチェックデジットを転送するかどうかを設定します。



※有効



無効

#### UPC-E チェックデジットの転送

チェックデジットとは読み取り誤りがないかチェックするための数値です。

UPC-Eのチェックデジットを転送するかどうかを設定します。



※有効



無効

### UPC-E1 チェックデジットの転送

チェックデジットとは読み取り誤りがないかチェックするための数値です。

UPC-E1 のチェックデジットを転送するかどうかを設定します。



※有効



無効

### UPC-A Preamble

Preamble キャラクタは、国コードとシステムキャラクタ（NS）で構成される UPC シンボルの一部です。UPC-A を読み取った際、データの先頭に国コードと NS を付加できません。国コードは、「0」固定となります。

\* 「0」で始まる JAN13 を読み取る場合、「国コードを付加して、NS も送信する」を選択してください。



Preamble なし



※NSのみ送信する



国コードを付加して、NS も送信する

### UPC-E Preamble

Preamble キャラクタは、国コードとシステムキャラクタ（NS）で構成される UPC シンボルの一部です。UPC-E を読み取った際、データの先頭に国コードと NS を付加できません。

国コードは、「0」固定となります。

\* 「0」で始まる JAN8 を読み取る場合、「国コードを付加して、NS も送信する」を選択してください。



Preamble なし



※NS のみ送信する



国コードを付加して、NS も送信する

### UPC-E1 Preamble

Preamble キャラクタは、国コードとシステムキャラクタ（NS）で構成される UPC シンボルの一部です。UPC-E1 を読み取った際、データの先頭に国コードと NS を付加できません。国コードは、「0」固定となります。



Preamble なし



※NS のみ送信する



国コードを付加して、NS も送信する

### UPC-E を UPC-A に変換

UPC-E で読み取られたデータを UPC-A に変換して転送するには、「有効」をスキャンします。

有効にした場合は、変換後に UPC-A の設定（Preamble とチェックデジット等）が反映します。

「無効」をスキャンした場合は、UPC-E で読み取られたデータは、変換されずに UPC-E データとして転送されます。



有効



※無効

### UPC-E1 を UPC-A に変換

UPC-E1 で読み取られたデータを UPC-A に変換して転送するには、「有効」をスキャンします。

有効にした場合は、変換後に UPC-A の設定（Preamble とチェックデジット等）が反映します。

「無効」をスキャンした場合は、UPC-E1 で読み取られたデータは、変換されずに UPC-E1 データとして転送されます。



有効



※無効

### EAN-8/JAN 8 先頭に「0」追加

EAN-8/JAN 8 で読み取られたデータの先頭に「0」を5つ付加して転送するには、「有効」をスキャンします。これにより、EAN-13/JAN 13 に変換することができます。

「無効」をスキャンした場合は、EAN/JAN-8 シンボルはそのまま転送されます。



有効



※無効

UCC Coupon Extended Code の読み取り

先頭 1 桁が「5」から始まる UPC-A バーコード、先頭 2 桁が「99」から始まる EAN/JAN-13  
UPC-A/EAN-128 クーポンコードを読み取るには、「有効」をスキャンします。



有効



※無効

バーコード Code 128

Code 128 読み取り



※有効



無効

UCC/EAN-128 読み取り



※有効



無効

### ISBT 128 読み取り

ISBT 128 は、血液銀行産業で使われる Code 128 の一種です。

\* 有効にした場合は、ISBT 連結を実行してください。



※有効



無効

### バーコード Code 39

#### Code 39 読み取り



※有効



無効

### Trioptic Code 39 読み取り

Trioptic Code 39 は、コンピュータのデープカードリッジのマーキングに使用される Code 39 の一種です。Trioptic Code 39 シンボルは、常に 6 文字で構成されます。

\* Trioptic Code 39 と Code 39 Full ASCII は、同時に「有効」にできません。



有効



※無効

### Code 39 を Code 32 に変換

Code 32 は、イタリアの製薬工業に使用される Code 39 の一種です。

\* 「Code 39 の読み取り」を有効にする必要があります。



有効



※無効

### Code 32 先頭に「A」追加

Code 32 で読み取られたデータの先頭に「A」を付加して転送するには、「有効」をスキャンします。

\* 「Code 39 を Code 32 に変換」を有効にする必要があります。



有効



※無効

### Code 39 の読み取り桁数設定

Code 39 の読み取り桁数「1 種類の読み取り桁数」、「2 種類の読み取り桁数」、「指定範囲内読み取り桁数」、「任意の読み取り桁数」に設定できます。

デフォルト値は、「指定範囲内読み取り桁数」で最小 2 桁、最大 55 桁です。

\* 「Code 39 Full ASCII 変換」を有効にする場合は、「任意の読み取り桁数」の設定をすることを推奨します。

#### ● 1 種類の読み取り桁数

1 種類の選択した読み取り桁数の Code 39 しか読み取りません。

例えば、12 桁文字の Code 39 だけを読み取りたい場合：

- ① 「1 種類の読み取り桁数」をスキャンします。
- ② 「数字バーコード」(P.87) の「1」、「2」をスキャンして完了です。
  - ・ 設定を中止する場合は (P.88) の「キャンセル」をスキャンして下さい。
  - ・ 桁数設定値が 1 桁の場合は、「0」、「1 桁数字」をスキャンします。

#### ● 2 種類の読み取り桁数

2 種類の選択した読み取り桁数の Code 39 しか読み取りません。

例えば、4 桁と 12 桁文字の Code 39 だけを読み取りたい場合：

- ① 「2 種類の読み取り桁数」をスキャンします。

②「数字バーコード」(P.87)の「0」、「4」、「1」、「2」をスキャンして完了です。

- ・ 設定を中止する場合は(P.88)の「キャンセル」をスキャンして下さい。
- ・ 桁数設定値が1桁の場合は、「0」、「1桁数字」をスキャンします。

● 指定範囲内読み取り桁数

指定した範囲内桁数の Code 39 しか読み取りません。

例えば、3～11 桁文字範囲内の Code 39 だけを読み取りたい場合：

- ①「指定範囲内読み取り桁数」をスキャンします。
- ②「数字バーコード」(P.87)の「0」、「3」、「1」、「1」をスキャンして完了です。
  - ・ 設定を中止する場合は(P.88)の「キャンセル」をスキャンして下さい。
  - ・ 桁数設定値が1桁の場合は、「0」、「1桁数字」をスキャンします。

● 任意の読み取り桁数

任意の文字数の Code 39 を読み取ります。



1 種類の読み取り桁数



2 種類の読み取り桁数



※指定範囲内読み取り桁数



任意の読み取り桁数

Code39 チェックデジットの確認

チェックデジットとは読み取り誤りが無いかチェックするための数値です。

「有効」を選択すると「モジュラス 43」チェックデジットを含む Code 39 だけが読み取られます。



有効



※無効

#### Code 39 チェックデジットの転送

Code 39 を読み取った際、チェックデジットを転送します。

\* 「Code 39 チェックデジットの確認」を有効にする必要があります。



有効



※無効

#### Code 39 Full ASCII の読み取り

Code 39 Full ASCII とは、キャラクタをペアにしてフル ASCII キャラクタセットにエンコードする Code 39 の一種です。「ASCII キャラクタ値一覧」(P. 77)をご参考にして下さい。

\* Code 39 Full ASCII と Trioptic Code 39 は、同時に「有効」にできません。



有効



※無効

#### Code 39 バッファリング (スキャン&ストア)

この機能により、スキャナーが複数の Code 39 データを蓄積することができます。スキャン&ストアオプション (Code 39 のバッファ) を選択して、後で転送できるようにするために、一時的に先頭のキャラクタが空白であるすべての Code 39 を蓄積します。先頭の空白は削除されます。

「有効」をスキャンしますと、Code 39 のみを読み取るようにスキャンを設定することを推奨します。

「無効」をスキャンしますと、読み取られたすべての Code 39 データは蓄積せず、直ち

に転送されます。

\* 転送バッファにデータが蓄積されている場合は、「無効」に設定することができません。バッファは 200 バイトまで情報を蓄積できます。

\* 転送バッファ内にデータがあるときに Code 39 のバッファリングを無効するには、先にバッファの内容を「Code 39 バッファクリア」か「Code 39 バッファ送信」をスキャンしてください。



有効



※無効

### データのバッファリング

データのバッファリングを行うには、Code 39 のバッファリングが有効に設定する必要があります。開始バターンの直後に空白を伴う Code 39 が読み取られなければなりません。

- データが転送バッファをオーバーフローしない限り、スキャナは低い/高いビープ音を鳴らして、読み取るとバッファリングが成功したを示します。(オーバーフローが発生した場合については、「転送バッファのオーバーフロー」(P. 35) を参照して下さい。
- スキャナーは読み取ったデータを、先頭の空白を除いて転送バッファに追加します。
- 転送は行われません。

### Code 39 バッファのクリア

蓄積されている転送データをクリアする場合「転送バッファのクリア」をスキャンして下さい。

これは、開始キャラクタ、ダッシュ（マイナス）および終了キャラクタのみを含んでいます。

- スキャナは短い高音→低音を鳴らします。
- スキャナは転送バッファをクリアします。
- 転送は出来ません。



バッファクリア

- \* 「バッファクリア」は1つのダッシュ（マイナス）キャラクタしか含んでいないので、「Code 39 の読み取り桁数」最小値は「1」に設定して下さい。

### Code 39 バッファの転送

蓄積されているデータの転送方法は2つあります。

1 下の「バッファの転送」をスキャンします。これは、開始キャラクタ、ダッシュ（マイナス）および終了キャラクタのみを含んでいます。

- ・ スキャンはバッファを転送してクリアします。
- ・ スキャナは短い高音→低音を鳴らします。



バッファの転送

2 先頭が空白以外の Code 39 バーコードをスキャンします。

- ・ スキャナは新しい読み取りデータをバッファデータに追加します。
- ・ スキャナはバッファの内容を転送してクリアします。
- ・ スキャナはバッファの内容が転送されたことを低音→高音を鳴らして知らせます。
- ・ スキャナはバッファの内容を転送してクリアします。

\* 「バッファの転送」は1つのプラス（+）キャラクタしか含んでいないので、「Code 39 の読み取り桁数」最小値は「1」に設定して下さい。

### 転送バッファのオーバーフロー

Code 39 バッファは200キャラクタを保持します。読み取られたシンボルによって転送バッファがオーバーフローした場合には、次のようになります。

- ・ スキャナは3回長い高音を鳴らしてシンボルが受け入れられなかったことを知らせます。
- ・ 転送は行われません。バッファ内のデータは影響を受けません。

### 空のバッファを転送しようとした場合

読み取られたシンボルが「バッファの転送」シンボルであり、Code 39 バッファが空だった場合には、次のようになります。

- ・ 短い低音→高音が鳴り、バッファが空であることを知らせます。
- ・ 転送は行われません。
- ・ バッファは空のままです。

## バーコード Code 93

### Code 93 の読み取り

Code 93 の読み取りを設定します



有効



※無効

### Code 93 の読み取り桁数設定

Code 93 の読み取り桁数「1 種類の読み取り桁数」、「2 種類の読み取り桁数」、「指定範囲内読み取り桁数」、「任意の読み取り桁数」に設定できます。

デフォルト値は、「指定範囲内読み取り桁数」で最小 4 桁、最大 55 桁です。

#### ● 1 種類の読み取り桁数

1 種類の選択した読み取り桁数の Code 93 しか読み取りません。

例えば、12 桁文字の Code 93 だけを読み取りたい場合：

- ① 「1 種類の読み取り桁数」をスキャンします。
- ② 「数字バーコード」(P. 87)の「1」、「2」をスキャンして完了です。
  - ・ 設定を中止する場合は(P. 88)の「キャンセル」をスキャンして下さい。
  - ・ 桁数設定値が 1 桁の場合は、「0」、「1 桁数字」をスキャンします。

#### ● 2 種類の読み取り桁数

2 種類の選択した読み取り桁数の Code 93 しか読み取りません。

例えば、4 桁と 12 桁文字の Code 93 だけを読み取りたい場合：

- ① 「2 種類の読み取り桁数」をスキャンします。
- ② p. xx 「数字バーコード」の「0」、「4」、「1」、「2」をスキャンして完了です。
  - ・ 設定を中止する場合は p x x の「キャンセル」をスキャンして下さい。
  - ・ 桁数設定値が 1 桁の場合は、「0」、「1 桁数字」をスキャンします。

#### ● 指定範囲内読み取り桁数

指定した範囲内桁数の Code 93 しか読み取りません。

例えば、3 ~ 11 桁文字範囲内の Code 93 だけを読み取りたい場合：

- ③ 指定範囲内読み取り桁数」をスキャンします。
- ④ P. 87 「数字バーコード」の「0」、「3」、「1」、「1」をスキャンして完了です。
  - ・ 設定を中止する場合は P. 88 の「キャンセル」をスキャンして下さい。
  - ・ 桁数設定値が 1 桁の場合は、「0」、「1 桁数字」をスキャンします。

### 任意の読み取り桁数

任意の文字数の Code 93 を読み取ります。



1 種類の読み取り桁数



2 種類の読み取り桁数



※指定範囲内読み取り桁数



任意の読み取り桁数

### バーコード Code 11

#### Code 11 読み取り

Code 11 の読み取りを設定します。



有効



※無効

#### Code 11 の読み取り桁数設定

Code 11 の読み取り桁数「1 種類の読み取り桁数」、「2 種類の読み取り桁数」、「指定範囲内読み取り桁数」、「任意の読み取り桁数」に設定できます。

デフォルト値は、「指定範囲内読み取り桁数」で最小 4 桁、最大 55 桁です。

#### ● 1 種類の読み取り桁数

1種類の選択した読み取り桁数の Code 11 しか読み取りません。

例えば、12桁文字の Code 11 だけを読み取りたい場合：

- ① 「1種類の読み取り桁数」をスキャンします。
- ② 「数字バーコード」(P.87)の「1」、「2」をスキャンして完了です。
  - ・ 設定を中止する場合は(P.88)の「キャンセル」をスキャンして下さい。
  - ・ 桁数設定値が1桁の場合は、「0」、「1桁数字」をスキャンします。

#### ● 2種類の読み取り桁数

2種類の選択した読み取り桁数の Code 11 しか読み取りません。

例えば、4桁と12桁文字の Code 11 だけを読み取りたい場合：

- ① 「2種類の読み取り桁数」をスキャンします。
- ② 「数字バーコード」(P.87)の「0」、「4」、「1」、「2」をスキャンして完了です。
  - ・ 設定を中止する場合は(P.88)の「キャンセル」をスキャンして下さい。
  - ・ 桁数設定値が1桁の場合は、「0」、「1桁数字」をスキャンします。

#### ● 指定範囲内読み取り桁数

指定した範囲内桁数の Code 11 しか読み取りません。

例えば、3～11桁文字範囲内の Code 11 だけを読み取りたい場合：

- ① 「指定範囲内読み取り桁数」をスキャンします。
- ② 「数字バーコード」(P.87)の「0」、「3」、「1」、「1」をスキャンして完了です。
  - ・ 設定を中止する場合は(P.88)の「キャンセル」をスキャンして下さい。
  - ・ 桁数設定値が1桁の場合は、「0」、「1桁数字」をスキャンします。

#### ● 任意の読み取り桁数

任意の文字数の Code 11 を読み取ります。



1種類の読み取り桁数



2種類の読み取り桁数



※指定範囲内読み取り桁数



任意の読み取り桁数

### Code 11 チェックデジットの確認

チェックデジットとは読み取り誤りが無いかチェックするための数値です。

Code 11 を読み取った際、1つのチェックデジットか2つのチェックデジットにて確認を行います。

チェックデジットが無い場合は「無効」をスキャンして下さい。



※無効



1つのチェックデジット



2つのチェックデジット

### Code 11 チェックデジットの転送

Code 11 を読み取った際、チェックデジットを転送します。

\* 「Code 11 チェックデジットの確認」を有効にする必要があります。



有効



※無効

## バーコード Interleaved 2 of 5(ITF)

### Interleaved 2 of 5(ITF) の読み取り



※有効



無効

### Interleaved 2 of 5(ITF)の読み取り桁数設定

Interleaved 2 of 5(ITF)の読み取り桁数「1 種類の読み取り桁数」、「2 種類の読み取り桁数」、「指定範囲内読み取り桁数」、「任意の読み取り桁数」に設定できます。

デフォルト値は、「指定範囲内読み取り桁数」で14桁です。

#### ● 1種類の読み取り桁数

1種類の選択した読み取り桁数の Interleaved 2 of 5(ITF)しか読み取りません。

例えば、12桁文字の Interleaved 2 of 5(ITF)だけを読み取りたい場合：

- ① 「1種類の読み取り桁数」をスキャンします。
- ② 「数字バーコード」(P. 87)の「1」、「2」をスキャンして完了です。
  - ・ 設定を中止する場合は(P. 88)の「キャンセル」をスキャンして下さい。
  - ・ 桁数設定値が1桁の場合は、「0」、「1桁数字」をスキャンします。

#### ● 2種類の読み取り桁数

2種類の選択した読み取り桁数の Interleaved 2 of 5(ITF)しか読み取りません。

例えば、4桁と12桁文字の Interleaved 2 of 5(ITF)だけを読み取りたい場合：

- ① 「2種類の読み取り桁数」をスキャンします。
- ② 「数字バーコード」(P. 87)の「0」、「4」、「1」、「2」をスキャンして完了です。
  - ・ 設定を中止する場合は(P. 88)の「キャンセル」をスキャンして下さい。
  - ・ 桁数設定値が1桁の場合は、「0」、「1桁数字」をスキャンします。

#### ● 指定範囲内読み取り桁数

指定した範囲内桁数の Interleaved 2 of 5(ITF)しか読み取りません。

例えば、3～11桁文字範囲内の Interleaved 2 of 5(ITF)だけを読み取りたい場合：

- ① 「指定範囲内読み取り桁数」をスキャンします。
- ② 「数字バーコード」(P. 87)の「0」、「3」、「1」、「1」をスキャンして完了です。
  - ・ 設定を中止する場合は(P. 88)の「キャンセル」をスキャンして下さい。
  - ・ 桁数設定値が1桁の場合は、「0」、「1桁数字」をスキャンします。

● 任意の読み取り桁数

任意の文字数の Interleaved 2 of 5 (ITF) を読み取ります。



1 種類の読み取り桁数



2 種類の読み取り桁数



※指定範囲内読み取り桁数



任意の読み取り桁数

Interleaved 2 of 5 (ITF) チェックデジットの確認

チェックデジットとは読み取り誤りが無いかチェックするための数値です。

Interleaved 2 of 5 (ITF) を読み取った際、Uniform Symbology Specification (USS) アルゴリズムか Optical Product Code Council (OPCC) アルゴリズムかをスキャンします。どちらかをスキャンした場合は、チェックデジットが含まれていない ITF の読み取りはできません。

\* チェックデジットが無い場合は「無効」をスキャンして下さい。



※無効



USS



OPCC

### Interleaved 2 of 5(ITF) チェックデジットの転送

Interleaved 2 of 5(ITF)を読み取った際、チェックデジットを転送します。

\* 「Interleaved 2 of 5(ITF)チェックデジットの確認」を有効にする必要があります。



有効



※無効

### EAN-13 への変換

14桁の Interleaved 2 of 5 を 13 桁 EAN-13 に変換したい場合、「有効」をスキャンします。変換した後、EAN-13 として転送します。この設定は、先頭の「0」とチェックデジットが付いた 14 桁の Interleaved 2 of 5 を読み取った際のみ有効となります。



有効



※無効

### バーコード Discrete 2 of 5(DTF)

Discrete 2 of 5(DTF)の読み取り



有効



※無効

## Discrete 2 of 5(DTF)の読み取り桁数設定

Discrete 2 of 5(DTF)の読み取り桁数「1種類の読み取り桁数」、「2種類の読み取り桁数」、「指定範囲内読み取り桁数」、「任意の読み取り桁数」に設定できます。

デフォルト値は、「指定範囲内読み取り桁数」で12桁です。

### ● 1種類の読み取り桁数

1種類の選択した読み取り桁数のDiscrete 2 of 5(DTF)しか読み取りません。

例えば、12桁文字のDiscrete 2 of 5(DTF)だけを読み取りたい場合：

- ① 「1種類の読み取り桁数」をスキャンします。
- ② 「数字バーコード」(P.87)の「1」、「2」をスキャンして完了です。
  - ・ 設定を中止する場合は(P.88)の「キャンセル」をスキャンして下さい。
  - ・ 桁数設定値が1桁の場合は、「0」、「1桁数字」をスキャンします。

### ● 2種類の読み取り桁数

2種類の選択した読み取り桁数のDiscrete 2 of 5(DTF)しか読み取りません。

例えば、4桁と12桁文字のDiscrete 2 of 5(DTF)だけを読み取りたい場合：

- ① 「2種類の読み取り桁数」をスキャンします。
- ② 「数字バーコード」(P.87)の「0」、「4」、「1」、「2」をスキャンして完了です。
  - ・ 設定を中止する場合は(P.88)の「キャンセル」をスキャンして下さい。
  - ・ 桁数設定値が1桁の場合は、「0」、「1桁数字」をスキャンします。

### ● 指定範囲内読み取り桁数

指定した範囲内桁数のDiscrete 2 of 5(DTF)しか読み取りません。

例えば、3～11桁文字範囲内のDiscrete 2 of 5(DTF)だけを読み取りたい場合：

- ① 「指定範囲内読み取り桁数」をスキャンします。
- ② 「数字バーコード」(P.87)の「0」、「3」、「1」、「1」をスキャンして完了です。
  - ・ 設定を中止する場合は(P.88)の「キャンセル」をスキャンして下さい。
  - ・ 桁数設定値が1桁の場合は、「0」、「1桁数字」をスキャンします。

### ● 任意の読み取り桁数

任意の文字数のDiscrete 2 of 5(DTF)を読み取ります。



1種類の読み取り桁数



2種類の読み取り桁数



※指定範囲内読み取り桁数



任意の読み取り桁数

### バーコード Codabar(NW-7)

#### Codabar(NW-7)の読み取り



※有効



無効

#### Codabar(NW-7)の読み取り桁数設定

Codabar (NW-7) の読み取り桁数「1 種類の読み取り桁数」、「2 種類の読み取り桁数」、「指定範囲内読み取り桁数」、「任意の読み取り桁数」に設定できます。

デフォルト値は、「指定範囲内読み取り桁数」で最小 5 桁、最大 55 桁です。

##### ● 1 種類の読み取り桁数

1 種類の選択した読み取り桁数の Codabar (NW-7) しか読み取りません。

例えば、12 桁文字の Codabar (NW-7) だけを読み取りたい場合：

- ① 「1 種類の読み取り桁数」をスキャンします。
- ② 「数字バーコード」(P. 87) の「1」、「2」をスキャンして完了です。
  - ・ 設定を中止する場合は(P. 88)の「キャンセル」をスキャンして下さい。
  - ・ 桁数設定値が 1 桁の場合は、「0」、「1 桁数字」をスキャンします。

##### ● 2 種類の読み取り桁数

2 種類の選択した読み取り桁数の Codabar (NW-7) しか読み取りません。

例えば、4 桁と 12 桁文字の Codabar (NW-7) だけを読み取りたい場合：

- ① 「2 種類の読み取り桁数」をスキャンします。
- ② 「数字バーコード」(P. 87) の「0」、「4」、「1」、「2」をスキャンして完了です。
  - ・ 設定を中止する場合は(P. 88)の「キャンセル」をスキャンして下さい。

- ・ 桁数設定値が1桁の場合は、「0」、「1桁数字」をスキャンします。

● 指定範囲内読み取り桁数

指定した範囲内桁数の Codabar (NW-7) しか読み取りません。

例えば、3～11桁文字範囲内の Codabar (NW-7) だけを読み取りたい場合：

- ① 「指定範囲内読み取り桁数」をスキャンします。
- ② 「数字バーコード」(P.87)の「0」、「3」、「1」、「1」をスキャンして完了です。
  - ・ 設定を中止する場合は(P.88)の「キャンセル」をスキャンして下さい。
  - ・ 桁数設定値が1桁の場合は、「0」、「1桁数字」をスキャンします。

● 任意の読み取り桁数

任意の文字数の Codabar (NW-7) を読み取ります。



1種類の読み取り桁数



2種類の読み取り桁数



※指定範囲内読み取り桁数



任意の読み取り桁数

CLSI 編集

14桁の Codabar (NW-7) を読み取った際、1番目、5番目、10番目の各文字の後にスペースを挿入し、スタート・ストップキャラクタを除いて転送します。この機能は、ホストシステムでのこのデータ形式が必要な場合に有効にします。

\* 読み取った桁数は、スタート・ストップキャラクタは含まれず14桁です。



有効 (送信しない)



※無効 (送信する)

### Codabar(NW-7) スタート・ストップキャラクタの転送

Codabar (NW-7) を読み取った際のスタート・ストップの送信を外す機能です。

有効にすると送信しません。

※「B9876543210B」の B 等です。



有効 (送信しない)



※無効 (送信する)

### バーコード MSI

#### MSI 読み取り



有効



※無効

### MSI の読み取り桁数設定

MSI の読み取り桁数「1 種類の読み取り桁数」、「2 種類の読み取り桁数」、「指定範囲内読み取り桁数」、「任意の読み取り桁数」に設定できます。

デフォルト値は、「指定範囲内読み取り桁数」で最小 4 桁、最大 55 桁です。

#### ● 1 種類の読み取り桁数

1 種類の選択した読み取り桁数の MSI しか読み取りません。

例えば、12 桁文字の MSI だけを読み取りたい場合：

- ① 「1 種類の読み取り桁数」をスキャンします。
- ② 「数字バーコード」(P. 87)の「1」、「2」をスキャンして完了です。
  - ・ 設定を中止する場合は(P. 88)の「キャンセル」をスキャンして下さい。

- ・ 桁数設定値が1桁の場合は、「0」、「1桁数字」をスキャンします。

### ● 2種類の読み取り桁数

2種類の選択した読み取り桁数のMSIしか読み取りません。

例えば、4桁と12桁文字のMSIだけを読み取りたい場合：

- ① 「2種類の読み取り桁数」をスキャンします。
- ② 「数字バーコード」(P.87)の「0」、「4」、「1」、「2」をスキャンして完了です。
  - ・ 設定を中止する場合は(P.88)の「キャンセル」をスキャンして下さい。
  - ・ 桁数設定値が1桁の場合は、「0」、「1桁数字」をスキャンします。

### ● 指定範囲内読み取り桁数

指定した範囲内桁数のMSIしか読み取りません。

例えば、3～11桁文字範囲内のMSIだけを読み取りたい場合：

- ① 「指定範囲内読み取り桁数」をスキャンします。
- ② 「数字バーコード」(P.87)の「0」、「3」、「1」、「1」をスキャンして完了です。
  - ・ 設定を中止する場合は(P.88)の「キャンセル」をスキャンして下さい。
  - ・ 桁数設定値が1桁の場合は、「0」、「1桁数字」をスキャンします。

### ● 任意の読み取り桁数

任意の文字数のMSIを読み取ります。



1種類の読み取り桁数



2種類の読み取り桁数



※指定範囲内読み取り桁数



任意の読み取り桁数

### MSI チェックデジットの確認

チェックデジットとは読み取り誤りが無いかチェックするための数値です。

MSIを読み取った際、チェックデジットを確認します。常に最低1つのチェックデジッ

トが必要です。「2つのチェックデジット」をスキャンした場合は、2番目のチェックデジットの検証方法を設定する必要があります。「チェックデジットアルゴリズム」(P. xx)を参照してください



※1つのチェックデジット



2つのチェックデジット

### MSI チェックデジットの転送

MSI を読み取った際、チェックデジットを転送します。



有効



※無効

### MSI チェックデジットアルゴリズム

「MSI チェックデジットの確認」で「2つのチェックデジット」を選択した場合、完全性を確認する検査が2回要求されます。アルゴリズムとして Mod 10/Mod 11 と Mod 10/Mod 10 のいずれかをスキャンして下さい。



Mod 10/Mod 11



※Mod 10/Mod 10

バーコード 郵便コード

US Postnet 読み取り



※有効



無効

US Planet 読み取り



※有効



無効

UK Postal 読み取り



有効



※無効

UK Postal チェックデジットの転送

UK Postal を読み取った際、チェックデジットを転送します。



※有効



無効

### Japan Postal 読み取り



有効



※無効

### Australia Post の読み取り



有効



※無効

### US Postal チェックデジットの転送

US Postal を読み取った際、チェックデジットを転送します。



※有効



無効

### バーコード GS1 DataBar(RSS)

GS1 DataBar の種類は以下の通りです。

- GS1 DataBar Omnidirectional
- GS1 DataBar Truncated
- GS1 DataBar Stacked

- GS1 DataBar Stacked Omnidirectional
- GS1 DataBar Limited
- GS1 DataBar Expanded
- GS1 DataBar Expanded Stacked

各 GS1 DataBar の項目で有効または無効を設定します。

#### GS1 DataBar の読み取り

以下の GS1 DataBar を有効または無効に設定します。

- GS1 DataBar Omnidirectional
- GS1 DataBar Truncated
- GS1 DataBar Stacked
- GS1 DataBar Stacked Omnidirectional



※有効



無効

#### GS1 DataBar Limited の読み取り



有効



※無効

#### GS1 DataBar Limited の読み取り精度レベル

IG710 は、GS1 DataBar Limited のバーコードに対して 4 種類の読み取り精度レベルを設定できます。読み取り精度とスキャナの読み取り速度は反比例します。読み取り精度のレベルを上げると、スキャンする際に読み取り速度が低下します。ご使用の環境に応じて、読み取り精度レベルをスキャンして下さい。

- ・ レベル1：バーコードのクリアマージンは必要ありません。このレベルは、以前のGS1規格に準拠しています。しかし、数字「7」と「9」で始まるUPCコードをスキャンするとき、誤ってDataBar Limitedバーコードとして読み取る可能性があります。
- ・ レベル2：自動的にバーコードの危険性を検出します。この読み取り精度レベルは、UPCシンボルをスキャンする際に、誤ってDataBar Limitedバーコードとして読み取る可能性があります。誤った読み取りが検出された場合は、IG710はレベル3、そうでなければレベル1で読み取りを行います。
- ・ レベル3：このレベルは、新たに追加されたGS1規格に準拠したバーコードの読み取りに適しています。読み取るバーコードには、末尾のクリアマージンが5X必要です。
- ・ レベル4：このレベルは、GS1規格よりも厳しい条件のバーコードの読み取りに適しています。読み取るバーコードには、先頭と末尾のクリアマージンが5X必要です。



レベル1



レベル2



※レベル3



レベル4

#### GS1 DataBar Expanded の読み取り

以下のGS1 DataBar Expandedを有効または無効に設定します。

- ・ GS1 DataBar Expanded
- ・ GS1 DataBar Expanded Stacked



※有効



無効

### GS1 DataBar から UPC/EAN/JAN への変換

このパラメータは、コンポジットシンボルの一部として読み取られない GS1 DataBar と GS1 DataBar Limited にだけ適用されます。この変換が有効な場合、1 個のゼロを 1 桁目としてエンコードする GS1 DataBar と GS1 DataBar Limited では、先頭の「010」が取り除かれ、バーコードは EAN/JAN-13 として転送されます。

2 個以上 6 個未満の「0」で開始されるバーコードでは、先頭 (AI 含む) の「0100」が取り除かれ、バーコードは UPC-A として転送されます。システムキャラクタとカンントリーコードを転送する「UPC-A プリアンブル (国コードと NS)」パラメータは、変換後のバーコードに適用されます。システムキャラクタとチェックデジットは両方とも取り除かれないことに注意してください。



有効



※無効

### バーコード Composite

#### Composite CC-C 読み取り



有効



※無効

### Composite CC-A/B 読み取り



有効



※無効

### Composite TLC-39 読み取り



有効



※無効

### UPC Composite モード

UPC バーコードは、2D バーコードと「リンク」して、1つのバーコードとして送信できます。「Composite CC-A/B」を有効にした場合は、次のいずれかをスキャンします。

- ・ 「UPC をリンクしない」をスキャンした場合、UPC バーコードと 2D バーコードを検出したかどうかに関係なく、UPC バーコードを送信します。
- ・ 「UPC を常にリンクする」をスキャンした場合、UPC バーコードと 2D 部分を転送します。2D が存在しない場合、UPC バーコードは転送されません。
- ・ 「UPC コンポジットを自動認識する」をスキャンした場合、IG710 は 2D 部分があるかどうかを判別してから、UPC 部分と 2D 部分を転送します。



UPC をリンクしない



※UPC を常にリンクする



UPC コンポジットを自動認識する

## Composite ビープ音モード

Composite コードがスキャンされた際のビープ音回数を設定します。



読み取り後にビープ音が1回鳴る



※各コードが読み取られるたびに鳴る



読み取り後にビープ音が2回鳴る

## UCC/EAN Composite コードの GS1-128 エミュレーションモード



有効



※無効

## 2次元コード

PDF417 読み取り



※有効



無効

## Micro PDF417 読み取り



有効



※無効

## Micro PDF417 を Code128 にエミュレーション

この機能は、Micro PDF417 を Code128 として送信します。「設定」を有効にするには、「コード ID キャラクタの転送」 p x x x の ATM コード ID を選択する必要があります。

・設定を「有効」にしますと、以下のプリフィックスが送信されます。

]C1 先頭のデータが「903~907」、「912」、「914」、「915」の場合

]C2 先頭のデータが「908」、「909」の場合

]C0 先頭のデータが「910」、「911」の場合

・設定を「無効」にしますと、以下のプリフィックスが送信されます。

]L3 先頭のデータが「903~907」、「912」、「914」、「915」の場合

]L4 先頭のデータが「908」、「909」の場合

]L5 先頭のデータが「910」、「911」の場合



有効



※無効

## Data Matrix 読み取り



※有効



無効

## MaxiCode 読み取り



※有効



無効

## QRコード読み取り



※有効



無効

## 読み取り精度レベル

### 2値コードタイプの読み取り精度レベル

IG710は、2値コードタイプのバーコードに対して4種類の精度レベルを設定できます。バーコード品質等によって適切なレベルを設定してください。バーコード品質レベルの低下に応じて、選択する精度レベルを上げます。精度レベルが上がれば、スキャナの読み取り速度は低下します。

\*4値コード（UPC/EAN/JAN, Code128 ファミリー、Code93）は対象ではありません。

### レベル1

次のコードを読み取る際、「2度読み一致」を行います。

コードタイプ	桁数
Codabar	8桁以下
MSI	4桁以下
D 2 of 5	8桁以下
I 2 of 5	8桁以下

### レベル2

次のコードタイプを読み取る際、「2 度読み一致」を行います。

コードタイプ	桁数
全て	全て

### レベル 3

次のコードタイプを読み取る場合は、「3 度読み一致」を行います。それ以外のコードタイプの場合は、「2 度読み一致」になります。

コードタイプ	桁数
MSI	4 桁以下
D 2 of 5	8 桁以下
I 2 of 5	8 桁以下
Codabar	8 桁以下

### レベル 4

次のコードタイプを読み取る際、「3 度読み一致」を行います。

コードタイプ	桁数
全て	全て



※レベル 1



レベル 2



レベル 3



レベル 4

### 4 値コードタイプの読み取り精度レベル

IG710 は、4 値コードタイプのバーコードに対して 4 種類の読み取り精度レベルを設定できます。このバーコードには、UPC/EAN/JAN、Code128 ファミリー、Code39 が含まれ

ます。バーコード品質レベルの低下に応じて、読み取り精度レベルを上げます。読み取り精度とスキャナの読み取り速度は反比例するため、レベルを上げると、読み取りに時間がかかる場合があります。

- ・ レベル0： この設定では、IG710 はその性能を最大限に発揮できる状態で動作しつつ、規格を満たしているバーコードをスキャンするために十分な読み取り精度を確保できます。
- ・ レベル1： 4 値コードを読み取る際、「2 度読み一致」を行います。
- ・ レベル2： 4 値コードを読み取る際、「3 度読み一致」を行います。
- ・ レベル3： 4 値コードを読み取る際、「4 度読み一致」を行います。



レベル0



※レベル1



レベル2



レベル3

### キャラクタ間ギャップサイズ

Code39 と Codabar (NW-7) には、通常小さなキャラクタ間ギャップがあります。バーコードの印刷技術によっては、このギャップは許容されている最大サイズよりも大きくなり、スキャナがシンボルを読み取れなくなることがあります。この問題が生じた場合には、「大きなキャラクタ間ギャップ」を設定してください。



※通常のキャラクタ間ギャップ



大きなキャラクタ間ギャップ

## バーコード MacroPDF

MacroPDF は、1 個のファイルに複数の PDF シンボルを連結している特徴があります。IG710 は、最大 50 個までの MacroPDF シンボル内に保存された 64KB 以上の読み取りデータを保存できます。

### **\* 警告 \***

MacroPDF シーケンスごとに固有の識別子が付加されているため、出力時はシーケンス単位で分離してください。印刷時は、各配列にユニークな識別子があるので、それぞれの MacroPDF 配列は別々にして下さい。

同じデータをコード化していても、複数の MacroPDF 配列を混ぜないでください。

MacroPDF 配列のスキャン時は、途切れることなく全ての MacroPDF 配列をスキャンして下さい。

## MacroPDF 送信モード

設定は 3 種類あります。

- 全てのシンボルをバッファリング/完全である時送信：  
全体の配列がスキャンされ、全て解読されますと送信します。  
限界の 50 シンボルを超えると、全体がスキャンされていないので送信しません。  
バッファをクリアするために「バッファデータ送信」をスキャンして下さい。
- 特定の指示なし：  
配列に関わらず解読されたそれぞれの MacroPDF シンボルを送信します  
このモードを選択した場合は、「コントロールヘッダー送信」を「有効」にしてください。
- パススルー：  
処理を実行せず、データを解読、送信します。



全てのシンボルをバッファリング/完全である時送信



特定の指示なし



※パススルー

### MacroPDF コントロールヘッダー送信

セグメントインデックスやファイル ID 等のコントロールヘッダーの送信有無の設定になります。

\* 「MacroPDF 送信モード」で「特定の指示なし」にした場合は有効にしてください。



有効



※無効

### MacroPDF エスケープ文字

エスケープキャラクタとしてバックスラッシュキャラクタを有効にします。(GLI プロトコル)



有効



※無効

### MacroPDF バッファデータ送信

この設定は、蓄積されたデータを送信してクリアします。



バッファデータ送信

## MacroPDF バッファリング中止

この設定は、蓄積されたデータをクリアしてバッファリングを中止します。



バッファリング中止

## その他の設定

### コード ID 送信

バーコードを読み取った際、指定されたコード ID キャラクタをバーコードデータの先頭に付加して送信します。プリフィックスが既に付加されている場合、コード ID キャラクタはプリフィックスとバーコードデータの間に入ります。

付加されるコード ID キャラクタは、(p. 71)を参照してください。



シンボルコード ID キャラクタ



AIM コード ID キャラクタ



※なし

### プリフィックス・サフィックス値

バーコードデータのプリフィックス（先頭）に付加する 1 桁のキャラクタ、およびサフィックス（末尾）に付加する 1 桁か 2 桁のキャラクタを、任意に指定することができます。

プリフィックス・サフィックス値を設定するには、以下のバーコードをスキャンした後、付加させたいキャラクタに対応する数字4桁を「ASCII キャラクタ設定一覧表」(P. 77)から選び、「数字バーコード」(P. 87)をスキャンします。

例えば、プリフィックスに「CR」を追加する

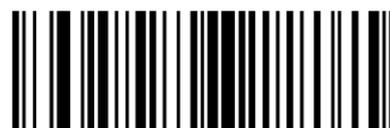
- ① 下の「プリフィックス」をスキャン
- ② 「ASCII キャラクタ設定一覧表」P. 77での「CR」値を参照
- ③ 「数字バーコード」(P. 87)の「1」、「0」、「1」、「3」をスキャンして完了です。

※設定を中止する場合は(P. 88)の「キャンセル」をスキャンします

※日本語入りデータ送信時(HID・VCOM・シリアル通信)は一部の制御コードの送信は出来ません。ASCII キャラクタセット値一覧P. 77~78が設定可能です。



プリフィックス



サフィックス1



サフィックス2

#### スキャンデータ転送 フォーマット

スキャンデータの転送フォーマットを設定します。



データそのまま (付加コード無し)



<データ><サフィックス1>

※デフォルト



<データ><サフィックス 2>



<データ><サフィックス 1>  
<サフィックス 2>



<プリフィックス><データ>



<プリフィックス><データ>  
<サフィックス 1>



<プリフィックス><データ>  
<サフィックス 2>



<プリフィックス><データ>  
<サフィックス 1><サフィックス 2>

#### FN1 の置き換え (USB 専用)

「有効」を設定すると、EAN128 バーコード内の FN1 キャラクタをユーザーで指定した値に置換されます。キャラクタ設定は FN1 置換値で行ってください。

※ この値のデフォルトは 7013 (Enter キー) です。



有効



※無効

### FN1 置換値

キーボードと USBHID キーボードホストは FN1 置換機能をサポートしています。この機能が有効になると、EAN128 バーコードに含まれている FN1 キャラクタがある値で置き換えられます。この値のデフォルトは 7013 (Enter キー) です。

※FN1 の置き換え (USB 専用) にて「有効」にする必要があります。

例えば、「A」に置き換える

- ① 下の「FN1 置換値の変更」をスキャン
  - ② 「ASCII キャラクタ設定一覧表」(P. 77)で、「A」 x x x 参照
  - ③ 「数字バーコード」(P. 87)の「1」、「0」、「6」、「5」をスキャンして完了です。
- 設定を中止する場合は(P. 88)の「キャンセル」をスキャンします。



FN1 置換値の変更

### ファンクションキーのマッピング

バーコード (Code128 など) に ASCII の制御文字が含まれている場合に制御文字をファンクションキーに変換する設定です。

「有効」を設定した場合、標準的な制御キーがファンクションキーに変換されます。

例えば、「有効」に設定すると ASCII 制御文字の CR (0Dh) はキーボードの **ENTER**, HT (09h) はキーボードの **TAB** に変換して出力します。\* 目視文字として表示されません。

「無効」を設定すると ASCII 制御文字はキーボードの CTRL+1 文字として出力します。CR (0Dh) はキーボードの CTRL+M, HT (09h) はキーボードの CTRL+I に変換して出力します



※無効



有効

### NR（読み取りなし）メッセージの転送

NR（読み取りなし）メッセージを転送するかどうかを設定します。「転送する」をスキャンした場合、シンボル読み取りに失敗すると、「NR」キャラクタが転送されます。「転送しない」をスキャンした場合は、シンボル読み取りに失敗しても、ホストには何も転送されません。



転送する



※転送しない

## 第4章 Bluetooth の設定

### Bluetooth 初期化



%+\$000C\$

### SPP マスターモード



%A1J3

- ① 上記のバーコードをスキャンする
- ② 充電クレードル裏面の MAC アドレスバーコードをスキャンする
- ③ MAC アドレスバーコードが正常スキャンされると、スキャナーは、ショートビープ音 3 回鳴ると緑色 LED 1 回点滅する
- ④ 10 秒後に接続が完了する
- ⑤ 接続が完了すると、スキャナーからアップトンが鳴ると青色 LED がスロー点滅する、充電クレードルの LED が青色常時点灯する

## SPP スレープモード



%A1J2

- ① 上記のバーコードをスキャンする
- ② ホストデバイスで検索して、ペアリングを行って下さい。  
※デフォルトの PIN コードは【000000】
- ③ 接続が完了すると、スキャナーからアップトンが鳴ると青色 LED がスロー点滅する

## HID スレープモード



%A1J0

- ① 上記のバーコードをスキャンする
- ② ホストデバイスで検索して、ペアリングを行って下さい。  
PIN コード入力が必要な場合は「数字バーコード」(P. 87) を使って、数字コードをスキャンしてください
- ③ 接続が完了すると、スキャナーからアップトンが鳴ると青色 LED がスロー点滅する

## 範囲外蓄積機能

有効にすると、範囲外や通信不良にデータの送信ができない場合、スキャナー本体にデータを蓄積し、再度通信が復帰した時にデータを送信し、メモリをクリアします。

※有効



%A144

無効



%A140

## 蓄積データの送信設定

通信圏内に復帰した後、メモリに蓄積したデータの送信方式を選択することができる。

※この設定は HID モードのみ有効

「トリガーキーで送信する」に設定すると、通信圏内に復帰した後、トリガーキーを押すと、メモリ内の蓄積データを送信する。

「自動送信する」に設定すると、通信圏内に復帰した後、メモリ内の蓄積データを自動的に送信される。

※トリガーキーで送信する



%A4K0

自動送信する



%A4K4

### Bluetooth 自動再接続

有効にすると、Bluetooth 通信圏外から復帰すると、自動的に再接続を行う

※この設定は HID モードのみ有効

※有効



%A188

無効



%A180

### クレードル ID 表示

無効



%A281

※有効



%A280

### IOS 端末のキーボード呼び出し設定

有効にすると、トリガーを2回素早く押すことで IOS キーボードを表示させることができる。  
再度2回、トリガーを押すことで非表示にできる。

※有効



%A408

無効



%A400

### スリープモード設定

指定した時間にて Bluetooth を OFF にして省電力モードへ切り替える。

スリープ復帰後、トリガーボタンを押すと再ペアリングが実行される。ペアリング確立までに約 5 秒程度かかる。

※再ペアリング前に読取りを行うと蓄積メモリに読み取ったデータが保存される仕様、保存されたデータを出力したい場合は、トリガーボタンを素早く2回押すことで送信される。

スリープ 1分 有効



%A272

スリープ 10分 有効



%A273

※スリープ オフ



%A270

## バッチモード設定

バッチモードを有効にすると、リアルタイムで読み取ったデータを送信せず、データをメモリに蓄積する。

バッチモード 有効



%A108

※通常送信



%A100

メモリデータを送信する



%~\$000H\$

メモリデータを全て削除する



%~\$000I\$

メモリの最後に保存されたデータを削除



%~\$0000\$

## 付録 A

### シンボルコード ID 一覧

コードキャラクタ	コードタイプ
A	UPC-A、UPC-E、UPC-E1、EAN-8、EAN-13
B	Code 39、Code 32
C	Codabar
D	Code 128
E	Code 93
F	Interleaved 2 of 5
G	Discrete 2 of 5、または Discrete 2 of 5 IATA
H	Code 11
J	MSI
K	UCC/EAN-128
L	Bookland EAN
M	Trioptic Code 39
N	Coupon Code
R	RSS Family
T	UCC Composite、TLC 39
X	PDF417、Macro PDF417、Micro PDF417
Z	Aztec、Aztec Rune
P00	Data Matrix
P01	QR Code
P02	Maxicode
P03	US Postnet
P04	US Planet
P05	Japan Postal
P06	UK Postal
P09	Australian Postal

## AIM コード ID

各コード ID キャラクタは、]cm の 3 文字で構成されています。

] = フラグキャラクタ

c = コードキャラクタ

m = 修飾キャラクタ

## コードキャラクター一覧

コードキャラクタ	コードタイプ
A	Code 39、Code 39 Full ASCII、Code 32
C	Code 128、Coupon (Code 128 portion)
d	Data Matrix
E	UPC/EAN、Coupon (UPC portion)
e	RSS Family
F	Codabar
G	Code 93
H	Code 11
I	Interleaved 2 of 5
L	PDF417、Macro PDF417、Micro PDF417
M	MSI
Q	QR Code
S	Discrete 2 of 5、IATA 2 of 5
U	Maxicode
X	Bookland EAN、ISSN EAN、Trioptic Code 39、US Postnet、US Planet、UK Postal、Japan Postal、Australia Post、Dutch Postal

## 修飾キャラクター一覧

コードタイプ	オプション値	説明
Code 39	0	チェックデジットなし、Full ASCII 変換もなし。
	1	チェックデジットを検証した
	3	チェックデジットを検証して、取り除いた。
	4	Full ASCII 変換を行った。
	5	Full ASCII 変換を行い、チェックデジットを検証した。
	7	Full ASCII 変換を行い、チェックデジットを検証して、取り除いた。
	例: チェックキャラクタ「W」を持つ Full ASCII バーコードの場合、AIMIDW の場合、 ]A7AIMID (7=3+4) として送信される。	
Trioptic Code 39	0	オプションが指定されていないため、常に「0」が送信される。 例: Trioptic バーコードの場合、412356 は、]X0412356 として送信される。
Code 128	0	標準データパケット、最初のシンボル位置に FNC1 なし。
	1	最初のシンボルキャラクタ位置に FNC1。
	2	2 番目のシンボルキャラクタ位置に FNC1。
	例: 最初の位置に FNC1 がある Code (EAN) 128 バーコードの場合、(FNC1) AimID は、]C1AimID として転送される。	
Interleaved 2 of 5 (ITF)	0	チェックデジット検証なし。
	1	チェックデジットを検証した。
	3	チェックデジットを検証して、取り除いた。
	例: チェックデジットのない Interleaved 2 of 5 バーコードの場合、4123 は、]I04123 として送信される。	
Codabar (NW-7)	0	チェックデジット検証なし。
	1	チェックデジットを検証した。
	3	チェックデジットを検証して、取り除いた。
	例: チェックデジットのない Codabar (NW-7) バーコードの場合、4123 は、]F04123 として送信される。	
Code 93	0	オプションが指定されていないため、常に 0 を転送する。 例: Code 93 バーコードの場合、012345678905 は、]G0012345678905 として送信される。
MSI	0	チェックデジット送信

	1	チェックデジットが送信されなかった 例:1つのチェックデジットがある MSI バーコード 4123 の場合は]M04123 として送信される。
Discrete 2 of 5	0	オプションが指定されていないため、常に 0 を転送する。 例 : Discrete 2 of 5 バーコードの場合、4123 は、]S04123 として送信 される。
	0	全 EAN 国家コードフォーマットの標準パッケージで、UPC-A、 UPC-E の場合は 13 桁 (サプリメントデータは含まない)。 1 2 桁のサプリメントデータのみ。 2 5 桁のサプリメントデータのみ。 4 EAN-8 データパッケージ。 例 : UPC-A バーコードの場合、012345678905 は、]E00012345678905 とし て送信される。
Bookland EAN	0	オプションが指定されていないため、常に 0 を転送する。 例 : Bookland EAN バーコードの場合、123456789X は、]X0123456789X と して送信される。
	0	1つのチェックデジット。 1 2つのチェックデジット。 3 チェックデジット検証をして、送信しない。
Code 11	0	オプションが指定されていないため、常に 0 を転送する。GS1 DataBar Omnidirectional (RSS14) と GS1 DataBar Limitd (RSS Limitd) では、アプリケーション識別子「01」 も送信する注意 : UCC/EAN-128 エミュレーションモードでは、 Code 128 の規則で送信されます (つまり、]C1)。 例 : GS1 DataBar バーコードの場合、100123456788902 は、]e001100123456788902 として送信される。
	0	標準データ。 1 データの先頭にエンコードされたシンボルセパレータキャラ クタが付加されるデータパッケージ。 2 データの先頭にエスケープメカニズムキャラクタが付加され るデータパッケージ。 このデータパッケージは、ECI プロトコルをサポートしない。
EAN/UCC コンポ ジット (GS1DataBar、 UCC/EAN-128、 UPC コンポジッ トの 2D 部分)		ネイティブモード転送。注意 : コンポジットの UPC 部分は、 UPC の規則で転送される。
	0	標準データ。
	1	データの先頭にエンコードされたシンボルセパレータキャラ クタが付加されるデータパッケージ。
	2	データの先頭にエスケープメカニズムキャラクタが付加され るデータパッケージ。
		このデータパッケージは、ECI プロトコルをサポートしない。

	3	データの先頭にエスケープメカニズムキャラクタが付加されるデータパケット。このデータパケットは、ECI プロトコルをサポートする。	
		GS1-128 エミュレーション。注意：コンジットの UPC 部分は、UPC の規則で転送される。	
	1	データパケットは UCC/EAN-128（つまり、データ先頭に ]JC1 が付加される）。	
PDF417、Micro PDF417	0	IG710 が、1994 年の PDF417 バーコード仕様で規定されたプロトコルに一致する。注意：このオプションが転送されると、受信側は、ECI（拡張チャネル解釈）が呼び出されたか、または転送中にデータバイトの 92DEC が 2 倍になったかを確実に判別できません。	
	1	IG710 が、ECI プロトコル（拡張チャネル解釈）に適合するように設定された。すべてのデータキャラクタの 92DEC は 2 倍になる。	
	2	IG710 が、基本チャネル処理（エスケープキャラクタなし転送プロトコル）に適合するように設定された。データキャラクタの 92DEC は 2 倍にならない。	
		注意：デコーダがこのモードに設定されると、バッファされなかった MicroPDF シンボルやデコーダに ECI エスケープシーケンスの送信を要求するシンボルは転送できません。	
	3	バーコードは、UCC/EAN-128 シンボルからなり、最初のコードワードは、903~907、912、914、915	
	4	バーコードは、UCC/EAN-128 シンボルからなり、最初のコードワードは、908~909 まで。	
	5	バーコードは、UCC/EAN-128 シンボルからなり、最初のコードワードは、910~911 まで。	
		例：PDF417 バーコードで有効な転送プロトコルがない場合、ABCD は、]L2ABCD として転送される。	
	Data Matrix	0	ECC 000~140、サポート対象外
		1	ECC 200。
2		1 番目または 5 番目の位置に FNC1 がある ECC 200。	
3		2 番目または 6 番目の位置に FNC1 がある ECC 200。	
4		ECI プロトコルを実装した ECC 200。	
5		1 番目または 5 番目の位置に FNC1 があり、ECI プロトコルを実装した ECC 200	

	6	2 番目または 6 番目の位置に FNC1 があり、ECI プロトコルを実装した ECC 200
Maxi code	0	モード 4 または 5 のシンボル。
	1	モード 2 または 3 のシンボル。
	2	モード 4 または 5 で ECI プロトコルを実装されたシンボル。
	3	モード 2 または 3 で ECI プロトコルを実装されたシンボル。
QR Code	0	モデル 1 のシンボル。
	1	ECI プロトコルを実装していないモデル 2 のシンボル。
	2	ECI プロトコルを実装したモデル 2 のシンボル。
	3	ECI プロトコルを実装しておらず、最初の位置に FNC1 があるモデル 2 のシンボル。
	4	ECI プロトコルを実装しており、最初の位置に FNC1 があるモデル 2 のシンボル。
	5	ECI プロトコルを実装しておらず、2 番目の位置に FNC1 があるモデル 2 のシンボル。
	6	ECI プロトコルを実装しており、2 番目の位置に FNC1 があるモデル 2 のシンボル。

付録 B

表 1 ASCII キャラクタセット値一覧

設定値	Full ASCII Code 39 エンコードキャラクタ	キーストローク (シリアル通信)	キーストローク (USB 通信)
1000	%U	NUL	CTRL2
1001	\$A	SOH	CTRLA
1002	\$B	STX	CTRLB
1003	\$C	ETX	CTRLC
1004	\$D	EOT	CTRLD
1005	\$E	ENQ	CTRLE
1006	\$F	ACK	CTRLF
1007	\$G	BELL	CTRLG
1008	\$H	BCKSPC	CTRL H/BACKSPACE1
1009	\$I	HORIZ TAB	CTRL I/HORIZONTAL
1010	\$J	LF/NW LN	CTRLJ
1011	\$K	VT	CTRLK
1012	\$L	FF	CTRL L
1013	\$M	CR/ENTER	CTRLM/ENTER1
1014	\$N	SO	CTRLN
1015	\$O	SI	CTRL O
1016	\$P	DLE	CTRLP
1017	\$Q	DC1/XON	CTRLQ
1018	\$R	DC2	CTRLR
1019	\$S	DC3/XOFF	CTRLS
1020	\$T	DC4	CTRLT
1021	\$U	NAK	CTRLU
1022	\$V	SYN	CTRLV
1023	\$W	ETB	CTRL W
1024	\$X	CAN	CTRL X
1025	\$Y	EM	CTRL Y
1026	\$Z	SUB	CTRL Z
1027	%A	ESC	CTRL[/ESC1

1028	%B	FS	CTRL¥
1029	%C	GS	CTRL]
1030	%D	RS	CTRL6
1031	%E	US	CTRL
1032	Space	Space	Space
1033	/A	!	!
1034	/B	“	“
1035	/C	#	#
1036	/D	\$	\$
1037	/E	%	%
1038	/F	&	&
1039	/G	,	,
1040	/H	(	(
1041	/I	)	)
1042	/J	*	*
1043	/K	+	+
1044	/L	,	,
1045	-	-	-
1046	.	.	.
1047	/o	/	/
1048	0	0	0
1049	1	1	1
1050	2	2	2
1051	3	3	3
1052	4	4	4
1053	5	5	5
1054	6	6	6
1055	7	7	7
1056	8	8	8
1057	9	9	9
1058	/Z	:	:
1059	%F	;	;
1060	%G	<	<
1061	%H	=	=
1062	%I	>	>

1063	%J	?	?
1064	%V	@	@
1065	A	A	A
1066	B	B	B
1067	C	C	C
1068	D	D	D
1069	E	E	E
1070	F	F	F
1071	G	G	G
1072	H	H	H
1073	I	I	I
1074	J	J	J
1075	K	K	K
1076	L	L	L
1077	M	M	M
1078	N	N	N
1079	O	O	O
1080	P	P	P
1081	Q	Q	Q
1082	R	R	R
1083	S	S	S
1084	T	T	T
1085	U	U	U
1086	V	V	V
1087	W	W	W
1088	X	X	X
1089	Y	Y	Y
1090	Z	Z	Z
1091	%K	[	[
1092	%L	¥	¥
1093	%M	]	]
1094	%N	^	^
1095	%O	_	_
1096	%W	`	`
1097	+A	a	a

1098	+B	b	b
1099	+C	c	c
1100	+D	d	d
1101	+E	e	e
1102	+F	f	f
1103	+G	g	g
1104	+H	h	h
1105	+I	i	i
1106	+J	j	j
1107	+K	k	k
1108	+L	l	l
1109	+M	m	m
1110	+N	n	n
1111	+O	o	o
1112	+P	p	p
1113	+Q	q	q
1114	+R	r	r
1115	+S	s	s
1116	+T	t	t
1117	+U	u	u
1118	+V	v	v
1119	+W	w	w
1120	+X	x	x
1121	+Y	y	y
1122	+Z	z	z
1123	%P	{	{
1124	%Q		
1125	%R	}	}
1126	%S	~	~

**表 2 ALT Keyスタンダードデフォルト一覧**

設定値	キーストローク
2064	ALT 2
2065	ALT A
2066	ALT B
2067	ALT C
2068	ALT D
2069	ALT E
2070	ALT F
2071	ALT G
2072	ALT H
2073	ALT I
2074	ALT J
2075	ALT K
2076	ALT L
2077	ALT M
2078	ALT N
2079	ALT O
2080	ALT P
2081	ALT Q
2082	ALT R
2083	ALT S
2084	ALT T
2085	ALT U
2086	ALT V
2087	ALT W
2088	ALT X
2089	ALT Y
2090	ALT Z

※USB HIDのみ

**表 3 USB GUI キーキャラクタセット**

設定値	キーストローク
3000	Right Control Key
3048	GUI 0
3049	GUI 1
3050	GUI 2
3051	GUI 3
3052	GUI 4
3053	GUI 5
3054	GUI 6
3055	GUI 7
3056	GUI 8
3057	GUI 9
3065	GUI A
3066	GUI B
3067	GUI C
3068	GUI D
3069	GUI E
3070	GUI F
3071	GUI G
3072	GUI H
3073	GUI I
3074	GUI J
3075	GUI K
3076	GUI L
3077	GUI M
3078	GUI N
3079	GUI O
3080	GUI P
3081	GUI Q
3082	GUI R
3083	GUI S
3084	GUI T
3085	GUI U
3086	GUI V

3087	GUI W
3088	GUI X
3089	GUI Y
3090	GUI Z

※USB HIDのみ

**表 4 PF キー標準デフォルト値一覧**

設定値	キーストローク
4001	PF1
4002	PF2
4003	PF3
4004	PF4
4005	PF5
4006	PF6
4007	PF7
4008	PF8
4009	PF9
4010	PF10
4011	PF11
4012	PF12
4013	PF13
4014	PF14
4015	PF15
4016	PF16

※USB HIDのみ

**表 5 ファンクションキー標準デフォルト値一覧**

設定値	キーストローク
5001	F1
5002	F2
5003	F3
5004	F4
5005	F5
5006	F6
5007	F7
5008	F8
5009	F9
5010	F10
5011	F11
5012	F12
5013	F13
5014	F14
5015	F15
5016	F16
5017	F17
5018	F18
5019	F19
5020	F20
5021	F21
5022	F22
5023	F23
5024	F24

※USB HIDのみ

**表 6 テンキー標準デフォルト値一覧**

設定値	キーストローク
6042	*
6043	+
6044	undefined
6045	-
6046	.
6047	/
6048	0
6049	1
6050	2
6051	3
6052	4
6053	5
6054	6
6055	7
6056	8
6057	9
6058	Enter
6059	Num Lock

※USB HIDのみ

**表 7 拡張キー標準デフォルト値一覧**

設定値	キーストローク
7001	Break
7002	Delete
7003	PgUp
7004	End
7005	Pg Dn
7006	Pause
7007	Scroll Lock
7008	Backspace
7009	Tab
7010	Print Screen
7011	Insert
7012	Home
7013	Enter
7014	Escape
7015	Up Arrow
7016	Down Arrow
7017	Left Arrow
7018	Right Arrow

※USB HIDのみ

## 付録 C

### 数字バーコード

パラメータの設定で特定の数値が必要な場合、以下の数字バーコードをスキャンして下さい。



## キャンセルバーコード

「数字バーコード」で間違えた場合や、選択した設定を変更したい場合は、下のバーコードをスキャンします。



キャンセル

## 反転バーコード

### 1次元コード反転コード

- ・通常のみ - 通常のコードのみ読取ります。
- ・反転のみ - 反転バーコードのみ読取ります。
- ・反転の自動検出 - 通常・反転を識別して読取ります。



通常のみ (デフォルト)



反転のみ



反転の自動検出

### Data Matrix 反転コード

- ・通常のみ - 通常のコードのみ読取ります。
- ・反転のみ - 反転バーコードのみ読取ります。
- ・反転の自動検出 - 通常・反転を識別して読取ります。



通常のみ (デフォルト)



反転のみ



反転の自動検出

### QR コード 反転コード

- ・通常のみ - 通常のコードのみ読取ります。
- ・反転のみ - 反転バーコードのみ読取ります。
- ・反転の自動検出 - 通常・反転を識別して読取ります。



通常のみ (デフォルト)



反転のみ



反転の自動検出

## Aztec 反転コード

- ・通常のみ - 通常のコードのみ読み取ります。
- ・反転のみ - 反転バーコードのみ読み取ります。
- ・反転の自動検出 - 通常・反転を識別して読み取ります。



通常のみ (デフォルト)



反転のみ



反転の自動検出